

<第1クール>

【質疑応答】

Q. 授業改善チェックシートはどのように評価していますか？

A. 今のところは教師の主観になっています。

Q. 授業改善チェックシートの評価項目は読解力プリントの内容とリンクしていますか？

A. 必要に応じて読解力プリントの内容を変更することもあります。

Q. 読解プリント以外の朝学習はどのような内容がありますか？

A. 算数、読書、体育、国語に取り組んでいます。

Q. 読解プリントの採点は担任ですか？

A. 各学年のサポーターの先生がやってくれています。

【意見・感想】

・本校でも無回答が多いので課題となっています。

<第2クール>

【質疑応答】

Q. 読解力実態調査はどのように活用していますか？

A. 各学年のサポーターの先生が採点し、その結果に応じて次の問題の内容などに活かしてくれています。

Q. 読解力プリントはどのようなものを使っていますか？

A. 市販の問題集を使っています。

Q. 「つかえる」というのがとても大切だと思います。長文読解についても研究部と連携してはどうか？

A. 参考にします。

【意見・感想】

・「UD化された授業」と「長文を読解させる授業」は真逆の方向性のような気がして、なかなか難しいように感じました。

<第3クール>

【質疑応答】

Q. 読解力に課題があり、「語彙が足りない」というところから研究を始めています。

実態調査はどのように行っているんですか？

A. 朝学習の1回が読解プリントになります。

Q. 学年のプリントだと難しい場合があります。落ちているところにはどのような支援をしていますか？

A. 朝学習では当初は下学年のプリントを行っていた。

Q. 接続詞やキーワードに印をつけるというのはどのように取り組んでいますか？

A. (3年生の例) 模範解答に印をつけて解説しています。

本文の読解も必要だが、問題文への読解も重要だと考えています。

Q. 問題を読もうとしない子にはどのようなアプローチをしていますか？

A. 下学年の内容にしたり、問題数を減らしたりするなど、取り組みやすい問題に変更して意欲を高めるように工夫しています。